

営業分科会の活動目的

OTC医薬品産業活性化に向けた**産業政策の立案**とともに、**OTC医薬品産業で働くものの環境改善**に向けた取り組みを主な活動目的とする。

政策立案

【要請書】

■セルフメディケーションの推進

- 1) セルフメディケーション税制の対象品目拡大
- 2) スイッチOTCの品目拡大

【厚労省への質問事項】

- 1) 薬粧連合の要請書について
- 2) 骨太の方針の健康寿命の延伸について
- 3) スイッチOTCの拡大
- 4) 市販薬と同成分の医療用医薬品の保険償還について

OTC医薬品産業で働く者の環境改善

1) 返品問題

旧再販制度の名残もあり、返品が可能な商習慣が続いている。特に季節商品は医薬品・雑貨品に関わらず大量陳列を求められるため、返品も多くなりがち。

ドラッグストア業界としても返品は費用負担があるので、近年問題視されている。

2) 労務提供（陳列・改装・販売応援）

新店や改装があるときは陳列の応援を求められる。家電量販店の優越的地位の濫用問題で緩和されたが、「業務委託」という形態をとって残っている。OTCメーカーとしてもメリットがある面もあるのでなくなるはない。

3) お客様相談センター

消費者と直結している部署であるため、たちの悪いクレームがあることもある。精神的に病んでしまう組合員もいる。

